

# イー・アクセス株式会社 【9427】

---

2011年3月期 決算説明資料  
(2010年4月 ~ 2011年3月)



2011年5月12日

このたびの東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被災地の皆様の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

**I. 東日本大震災の影響について**

**Page 4**

**II. 2011年3月期決算の総括及び2012年3月期の見通し**

**Page 6**

**III. オペレーションの状況**

**Page 18**

**IV. Appendix**

**Page 30**

I. 東日本大震災の影響について

Page 4

II. 2011年3月期決算の総括及び2012年3月期の見通し

Page 6

III. オペレーションの状況

Page 18

IV. Appendix

Page 30

# 東日本大震災の影響について

## < 東日本大震災の影響 >

- 震災直後の携帯電話基地局の最大被災数は878基地局、DSL収容局の最大被災数は164局
- 3月11日のトラヒックは平常時の10倍に上昇。通信規制は実施せずに99.5%の通話接続率を維持
- 4月7日の余震による障害も含め、携帯電話基地局は4月11日に全復旧
- 震災による業績への影響額は約1億2千万円
- 震災による従業員、スタッフにけが人はなし

## < 今後の対策 >

- 2012年3月期及び2013年3月期の震災対策費用は約20億円を予定
- 基地局は計画停電時に予備電源に切り替え、通信サービスへの影響なく稼働、予備電源は6時間以上を確保、最長24時間サービス提供可能

### < 影響基地局数 >

	3月11日	3月15日	3月24日	4月11日	5月11日
モバイル基地局	878	140	26	0	0
DSL収容局	164	59	32	5	2

I. 東日本大震災の影響について

Page 4

II. 2011年3月期決算の総括及び2012年3月期の見通し

Page 6

III. オペレーションの状況

Page 18

IV. Appendix

Page 30

当期純利益は過去最高

モバイル契約者数は300万人を突破

EMOBILE G4 (42Mbps) サービスの開始

EBITDAは前年比15%増の670億円

当期純利益は170億円以上で過去最高を更新

LTE導入に向け準備開始



# 連結業績

- 連結売上高、EBITDA、及び当期純利益は過去最高を達成
- 端末評価損や、非現金性の特別損失を除いた連結業績は大幅に増加

	(億円)	2010年3月期	2011年3月期		
			通期予想	通期実績 (特損等反映前)	通期実績 (特損等反映後)
売上高		830.7	1,900.0	1,815.4	1,815.4
営業利益		191.5	250.0	244.2	149.7
<i>EM持分法損失</i>		- 60.3			
経常利益		108.3	126.0	145.4	50.9
当期純利益		41.5	90.0	314.5	145.7
EBITDA		265.6	610.0	582.5	582.5
<i>EBITDA マージン</i>		32.0%	32.1%	32.1%	32.1%
設備投資額		40.2	404.0	408.5	408.5
減価償却費		74.0	360.0	338.3	338.3

\*1: 2010年7月1日のイー・モバイルとの株式交換による経営統合が企業結合会計上の「逆取得」に該当するため、2011年3月期実績はイー・アクセスの9ヶ月分(7/2010-3/2011)及びイー・モバイルの12ヶ月分(4/2010-3/2011)を連結しております。

\*2: 2011年3月期のイー・モバイルにおける期末在庫の評価により、非現金性の棚卸資産評価損94.5億円を売上原価等に計上しておりますが、2011年3月期の通期実績(特損等反映後)のEBITDAの計算において、この評価損は足し戻されております。

## 2012年3月期通期業績予想

- EBITDAは670億円で2011年3月期比15%増を見込む
- 営業利益は、300億円で2011年3月期の2倍を見込む
- 当期純利益は170億円、2011年3月期に対して16.7%増で更に過去最高数値を更新予定

(億円)	2011年3月期	2012年3月期	
	実績 (連結)	通期予想 (合併後)	前年比 (%)
売上高	1,815.4	2,000.0	+ 10.2%
営業利益	149.7	300.0	+ 100.4%
経常利益	50.9	170.0	+ 234.0%
当期純利益	145.7	170.0	+ 16.7%
EBITDA	582.5	670.0	+ 15.0%
EBITDA マージン	32.1%	33.5%	+ 1.4 point
設備投資額	408.5	390.0	- 4.5%
減価償却費	338.3	370.0	+ 9.4%

\*1: 2010年7月1日のイー・モバイルとの株式交換による経営統合が企業結合会計上の「逆取得」に該当するため、2011年3月期実績はイー・アクセスの9ヶ月分(7/2010-3/2011)及びイー・モバイルの12ヶ月分(4/2010-3/2011)を連結しております。

\*2: 2011年3月期のイー・モバイルにおける期末在庫の評価により、非現金性の棚卸資産評価損94.5億円を売上原価等に計上しておりますが、EBITDAの計算において、この評価損は足し戻されております。

# 連結キャッシュフロー

- 2012年3月期の営業フリーキャッシュフロー\*1は280億円で今期比60%増を見込む
- 2012年3月期の純フリーキャッシュフロー\*2はEBITDAの成長と設備投資額の減少から2011年3月期の約6倍となる見込み

(億円)	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	前年比 (%)
	実績 (連結)	実績 (連結)	通期予想 (合併後)	
EBITDA	265.6	582.5	670.0	+ 15.0%
設備投資額	- 40.2	- 408.5	- 390.0	- 4.5%
営業フリーキャッシュフロー	225.4	174.0	280.0	+ 60.9%
利息(受け取り利息含む)	- 15.2	- 80.8	- 110.0	+ 36.1%
税金	- 35.8	- 25.4	+ 25.0	na
配当(受け取り配当含む)	- 35.8	- 42.0	- 30.0	- 28.6%
純フリーキャッシュフロー	138.6	25.8	165.0	+ 539.5%

\*1: EBITDA - 設備投資額

\*2: 営業フリーキャッシュフロー - 利息 - 税金 - 配当

# 連結バランスシート

- イー・モバイルを連結子会社化して以降、純有利子負債/EBITDA比率は継続して改善

(億円)	9/2010 (イー・モバイルは100% 連結子会社)	12/2010 (イー・モバイルは100% 連結子会社)	3/2011 (合併後) <sup>*2</sup>
現金及び預金	739.7	649.8	470.8
有利子負債	2,766.8	2,650.8	2,496.9
純有利子負債	2,027.1	2,001.1	2,026.1
純資産	697.7	723.3	730.3
総資産	3,718.9	3,645.8	3,529.5
純有利子負債/純資産比率	2.9x	2.8x	2.8x
EBITDA (直近12ヶ月)	*1 587.6	*1 607.0	*1 644.7
純有利子負債/EBITDA比率	*1 3.4x	*1 3.3x	*1 3.1x

\* 1: 2010年7月1日にイー・モバイルとの株式交換による経営統合を実施した結果、純有利子負債/EBITDA倍率の算出にあたり、イー・モバイル100%連結試算ベースでの過去12ヶ月分のEBITDAを用いております。

\*2: イー・モバイルを合併したことにより、2011年3月期末において連結子会社が存在せず、連結バランスシートを作成していない為、合併後のイー・アクセス単体のバランスシートを記載しております。

# 【ご参考】試算～2011年3月期連結業績比較

- 連結当期純利益の黒字化
- 連結営業フリーキャッシュフローの黒字化
- 連結EBITDAマージンは前年同期比7.8ポイント増

(億円)	2010年3月期(試算)			2011年3月期(試算)			2012年3月期(E)
	イー・アクセス 単体	イー・モバイル 単体	連結	イー・アクセス 単体	イー・モバイル 単体	連結	合計
売上高	828.1	1,136.1	1,764.8	709.1	1,426.4	1,954.0	2,000.0
営業利益(損失)	190.4	- 60.9	117.6	174.1	26.3	192.2	300.0
経常利益(損失)	166.7	- 147.7	5.8	158.0	- 57.5	88.8	170.0
当期純利益(損失)	97.1	- 148.8	- 63.8	297.0	- 106.1	166.4	170.0
EBITDA	264.9	*1 182.1	*1 445.2	242.4	*1 403.7	*1 644.9	670.0
EBITDA マージン	32.0%	16.0%	25.2%	34.2%	28.3%	33.0%	33.5%
設備投資額	40.1	533.9	555.0	23.4	403.1	413.9	390.0
減価償却費 *2	74.5	227.8	312.3	68.3	282.3	358.0	370.0
営業フリーキャッシュフロー	224.8	- 367.1	- 125.1	219.0	0.6	230.8	280.0

\*1: 各期においてイー・アクセスとイー・モバイルが100%連結した場合の試算です。

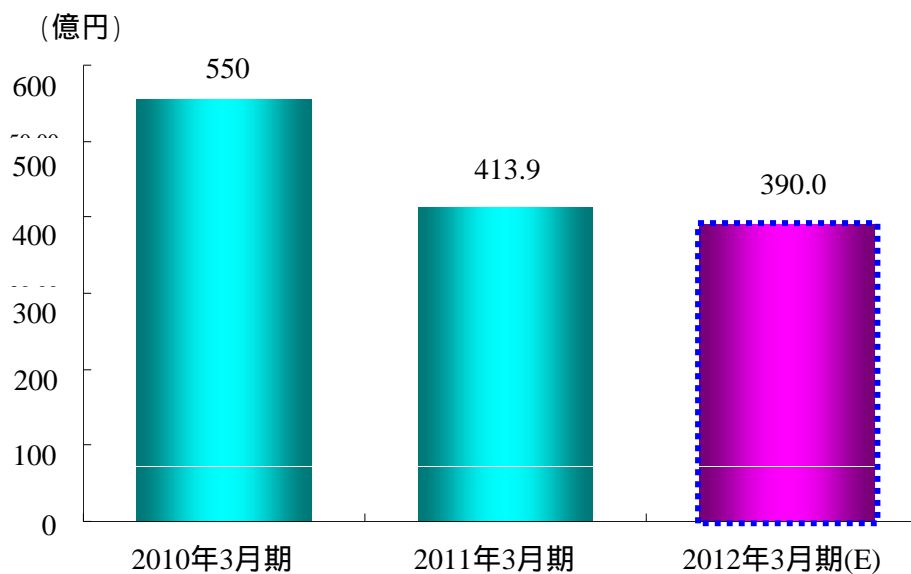
\*2: 2011年3月期のイー・モバイルにおける期末在庫の評価により、非現金性の棚卸資産評価損94.5億円を売上原価等に計上しておりますが、EBITDAの計算において、この評価損は足し戻されております。

\*3: 連結減価償却費にはのれん償却額を含みます。

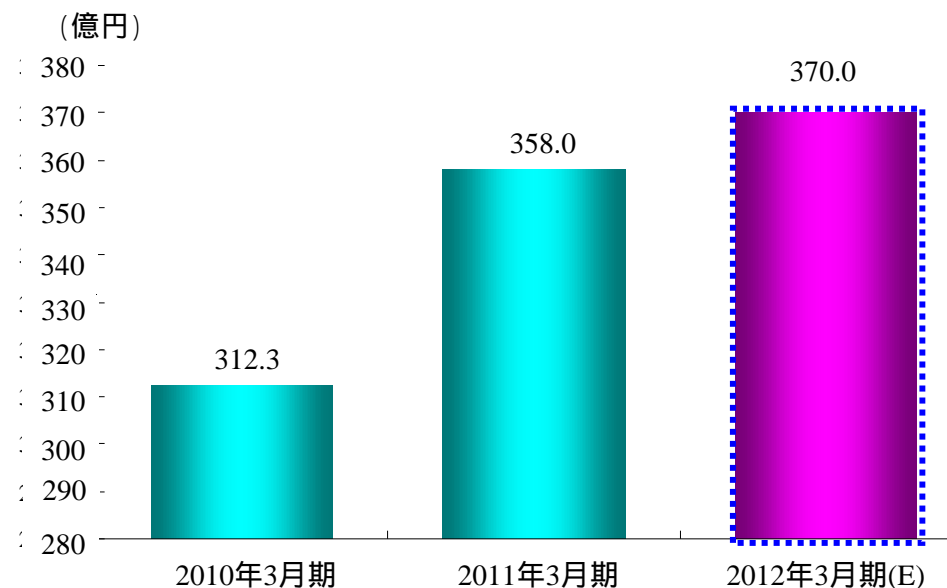
# 【ご参考】試算～連結設備投資額と減価償却費の推移

- 高速化、エリアの拡大、ネットワークキャパシティの増強を含む2012年3月期の設備投資額は2011年3月期に比べ、約6%減少する見込み
- 2012年3月期の減価償却費は2011年3月期に比べ、約3%上昇する見込み

設備投資額の推移【試算】



減価償却費の推移【試算】

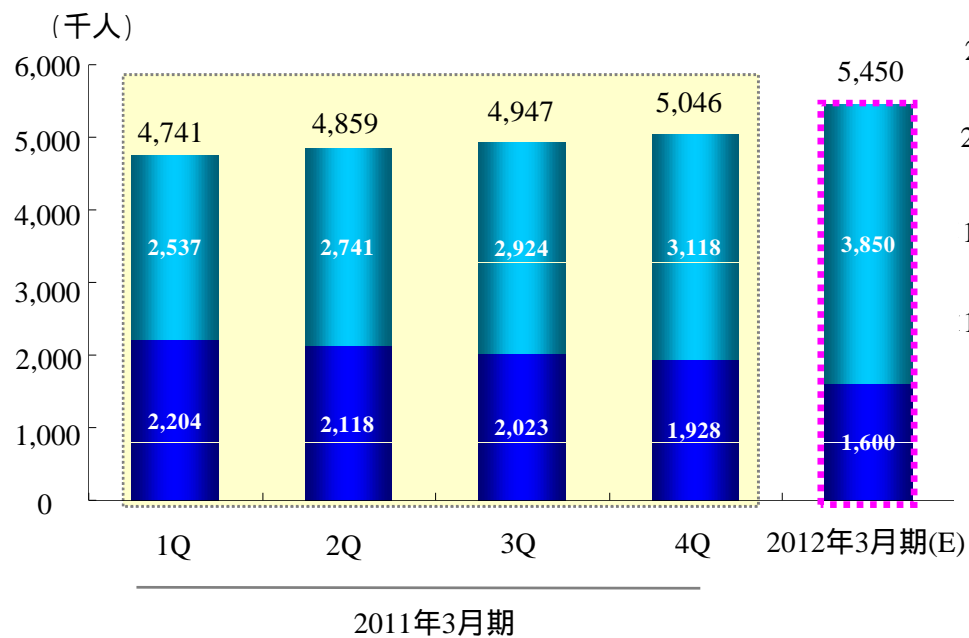


\*1: 各期においてイー・アクセスとイー・モバイルが100%連結した場合の試算です。

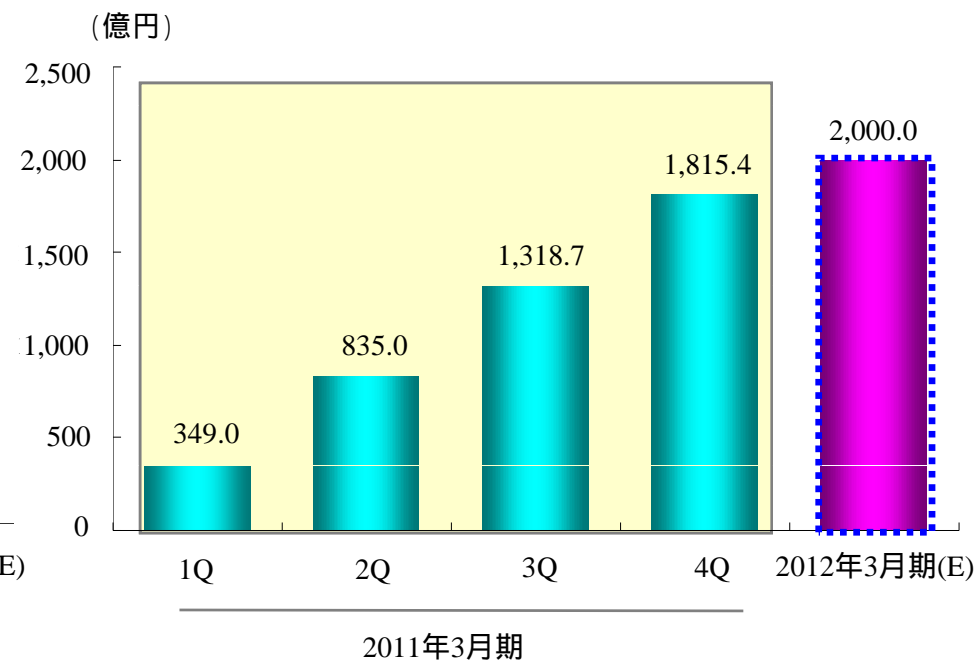
# 連結契約数と売上高の推移

- 連結売上高はモバイル事業の契約者数増加に伴い上昇

連結契約数推移 (累計)



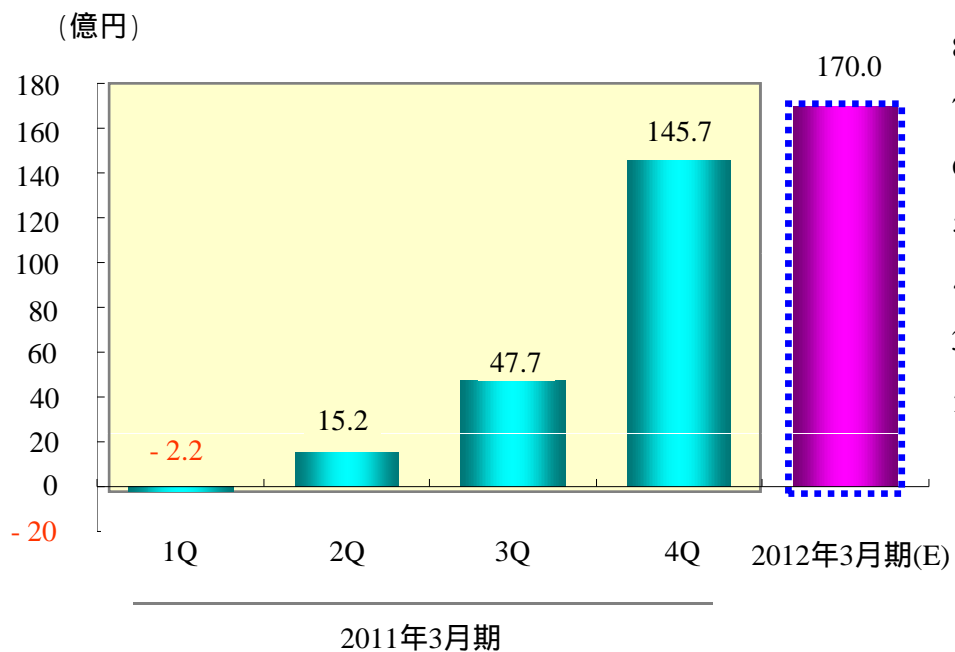
連結売上高推移 (累計)



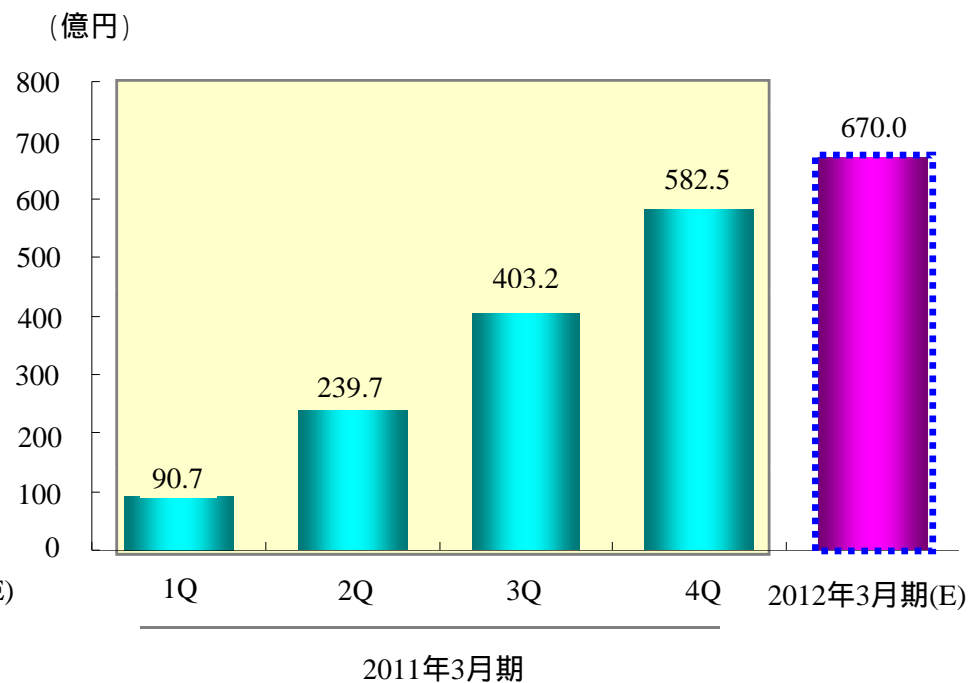
# 連結当期純利益とEBITDA推移

- 合併による税効果により、連結当期純利益は増加
- モバイル契約者数の増加に伴い、連結EBITDAは順調に増加

連結当期純利益推移 (累計)



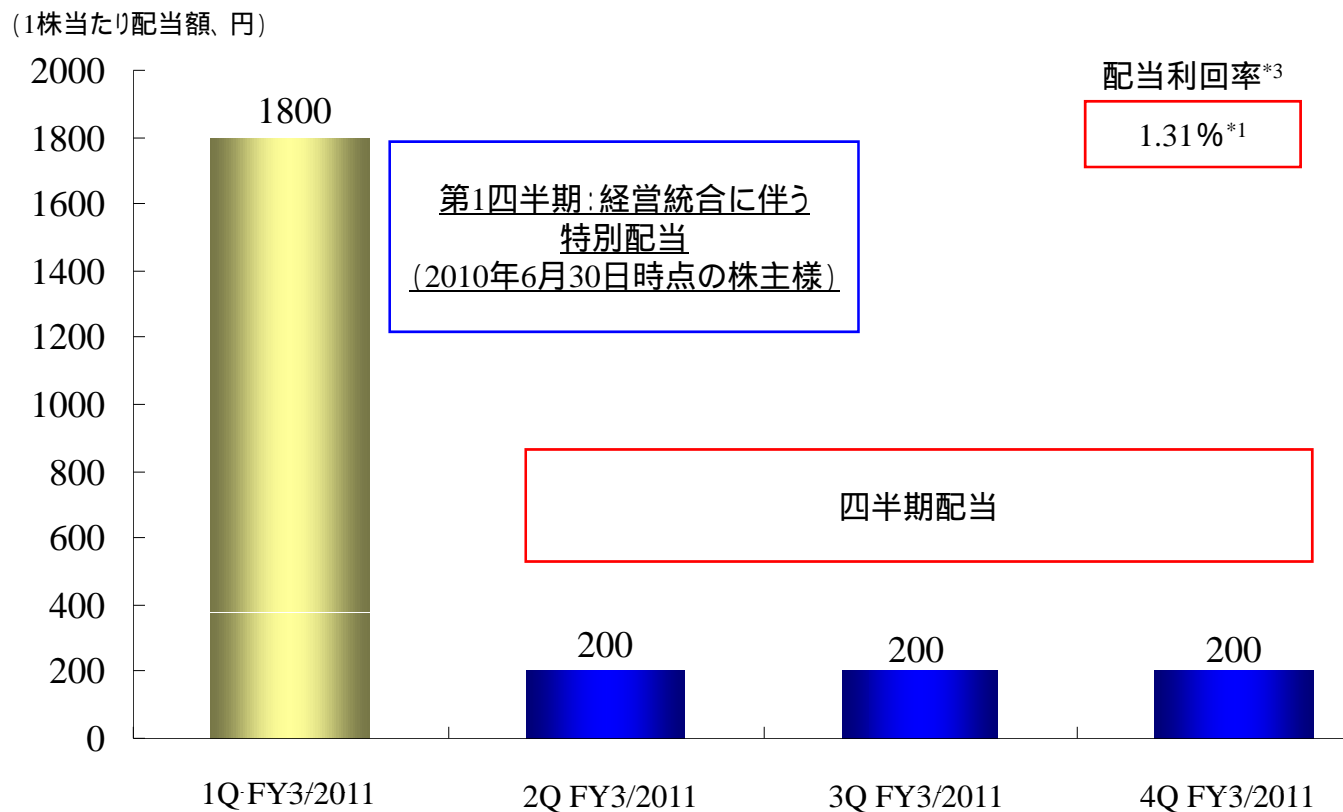
連結EBITDA推移 (累計)





# 株主還元

- 高成長に備え手元流動性の確保と共に、負債を減らし財務基盤の強化を図る
- 2011年3月期第2四半期から1株当たり200円の四半期配当を継続。2012年3月期は年間1株あたり800円の配当を実施予定



\*1: 年度末の株価をベースに算出

\*2: 特別配当を除く

I. 東日本大震災の影響について

Page 4

II. 2011年3月期決算の総括及び2012年3月期の見通し

Page 6

**III. オペレーションの状況**

**Page 18**

IV. Appendix

Page 30

## 2012年3月期の取り組み

### ネットワーク

- G4 (21 & 42Mbps) ネットワークエリア人口カバー率70%へ拡大
- 増加するデータ通信量にあわせたネットワークキャパシティの増強

ENABLE **G4**

### モバイル端末

- Pocket WiFiの高速化
- 今期5機種以上のスマートフォンとタブレット型パソコンを発表予定



Pocket **WiFi**

### サービス

- FMCサービスの拡大
- 通話定額サービスの拡大
- データ通信サービスプランの簡素化

### ブランド強化

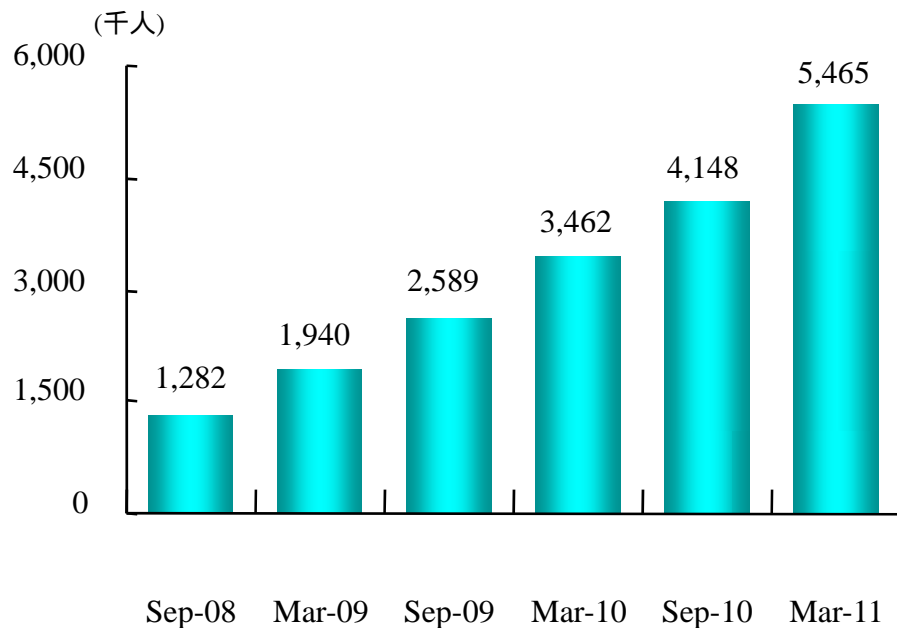
- マーケティングの強化及びブランド力の向上

利益の拡大

# 日本におけるモバイルブロードバンド市場

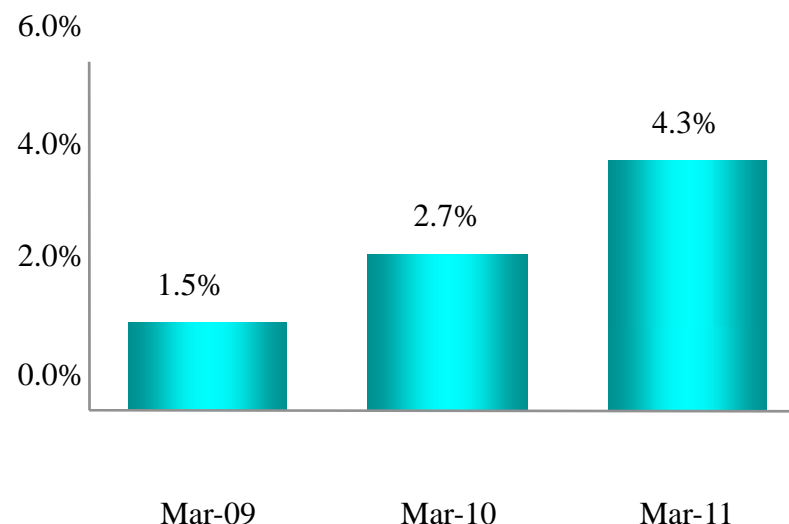
- 2011年3月期のモバイルブロードバンド大手3社の合計契約数は、前年の150万人増を上回る200万人増
- モバイルブロードバンドは通信市場の中でも最も成長の早い市場だが、日本におけるモバイルブロードバンドの浸透率は未だ低い

モバイルブロードバンド事業者の  
合計契約者数推移



出所: TCA; 会社公開情報

日本人口に対するモバイルブロードバンド事業者の  
合計契約者



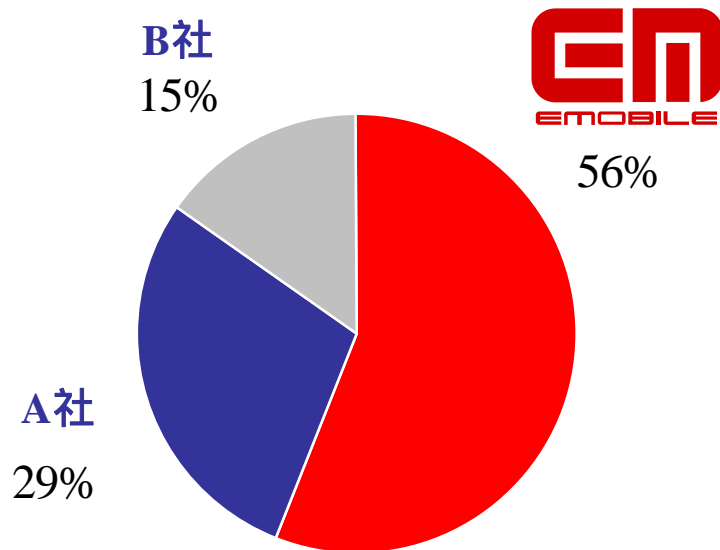
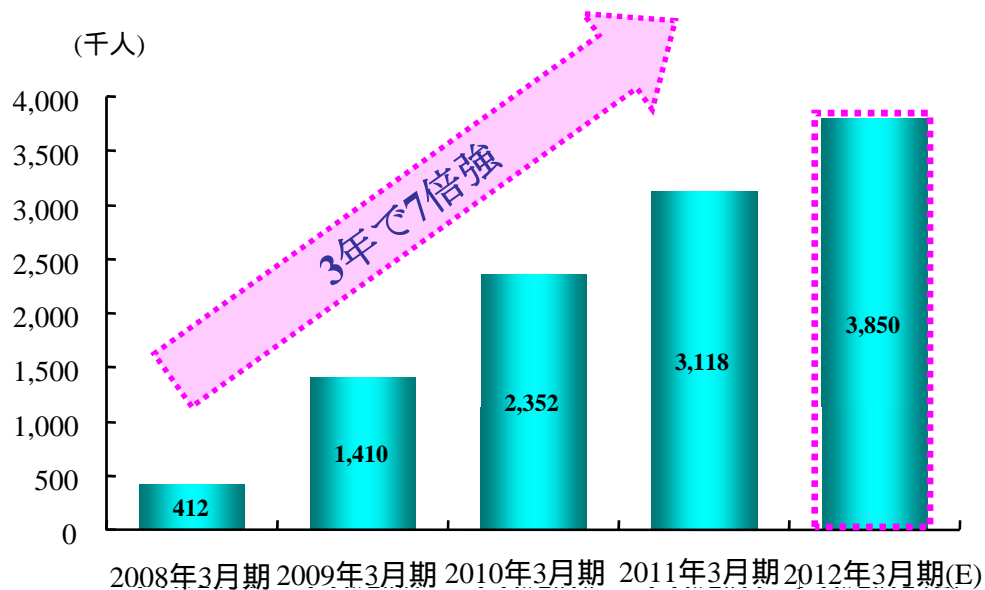
出所: 総務省; TCA; 会社公開情報

# イー・モバイルの契約数推移

766,000の通期純増を獲得し、2011年3月期の累計契約数は312万人  
2012年3月期も同水準の獲得ペースを維持し、累計契約数385万人を目指す

イー・モバイル契約数推移

モバイルデータ市場における累計契約数シェア

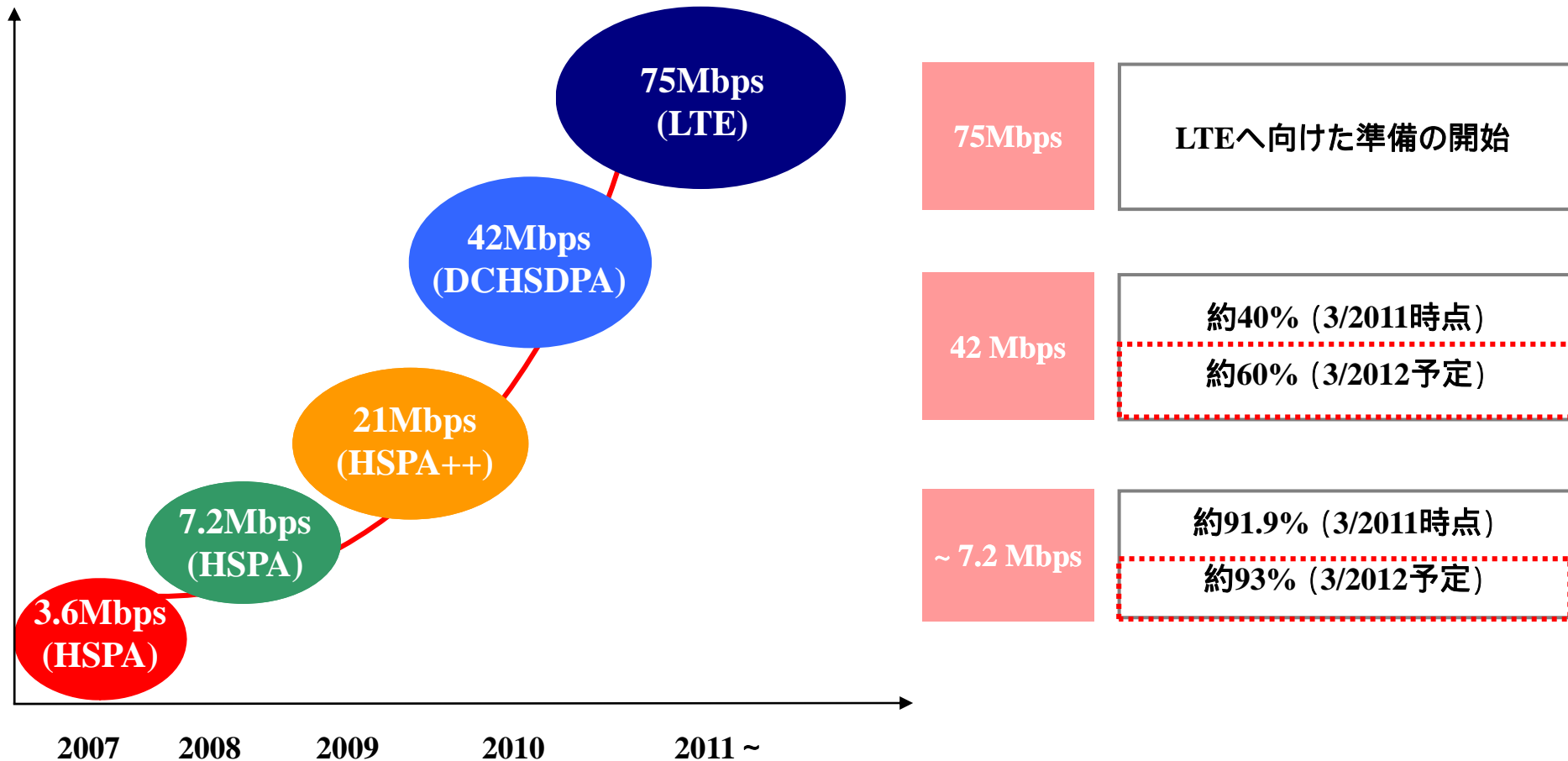


(3/31/2011時点)

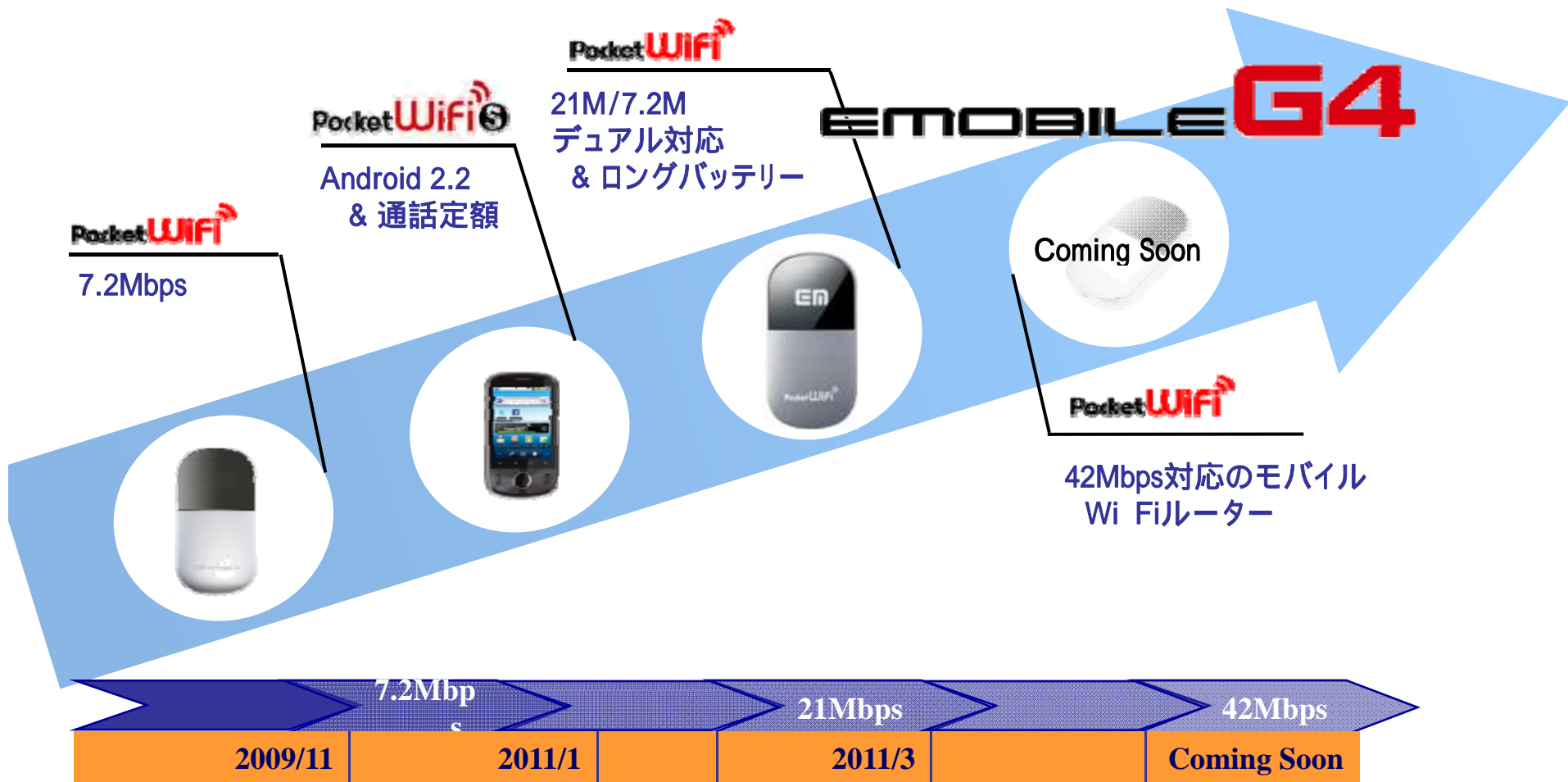
出所: TCA; 会社公開情報

## イー・モバイルG4 (21&42Mbps) サービスエリアの拡大

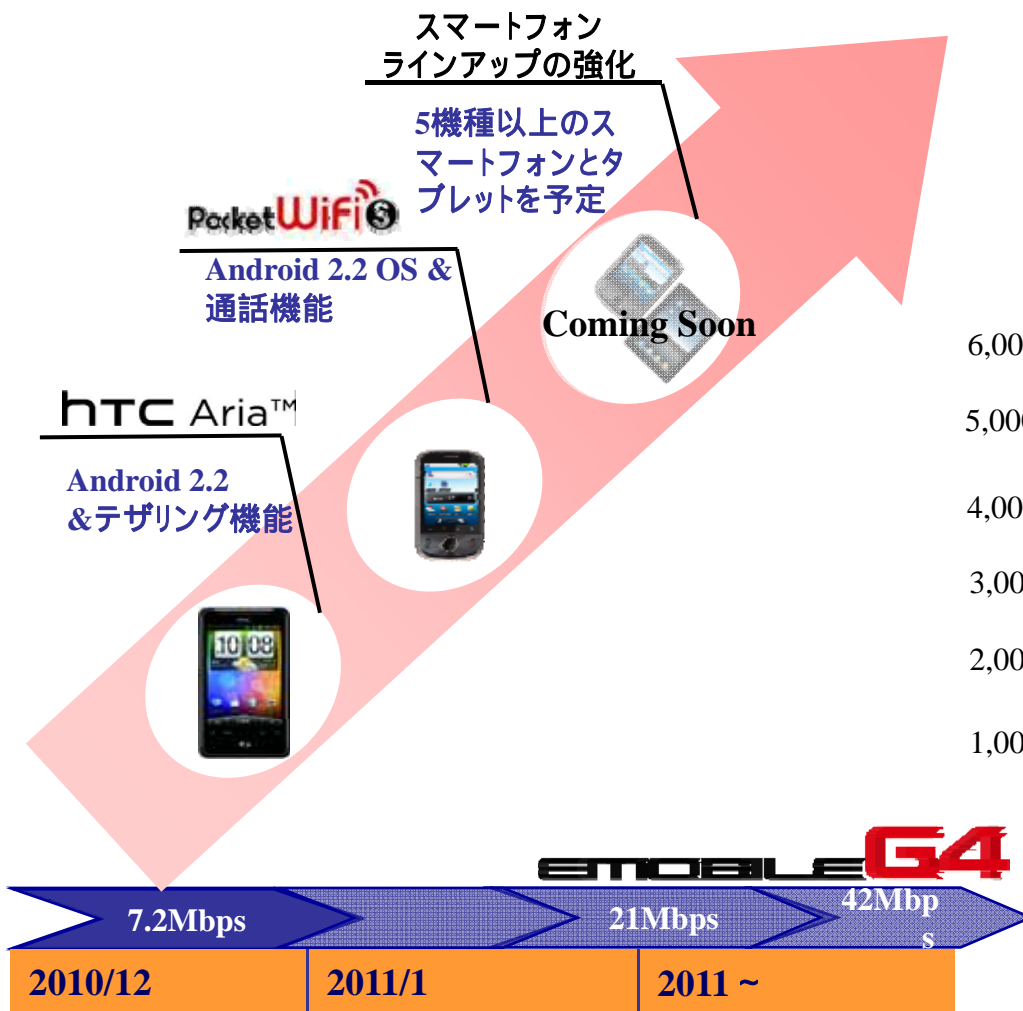
### イー・モバイルスピード別エリア拡大計画



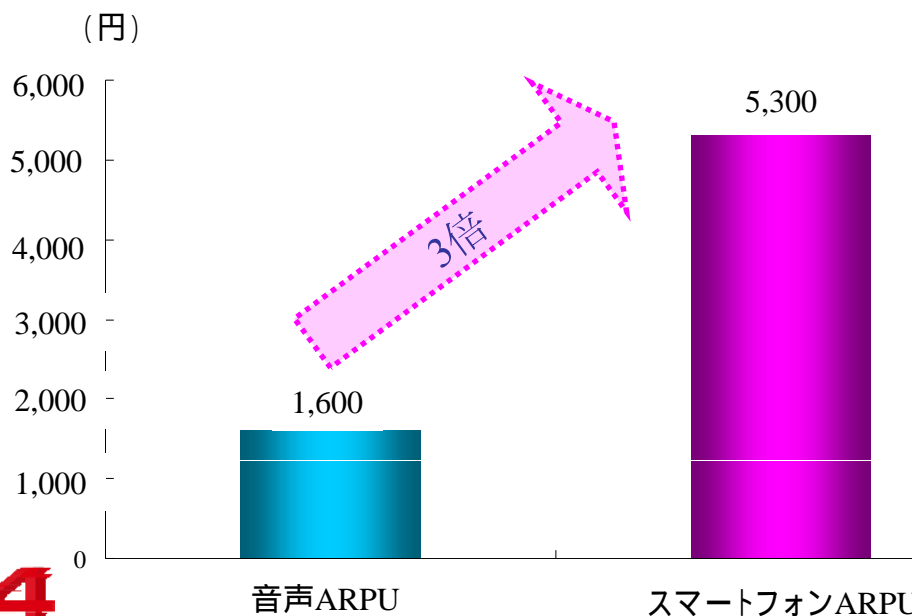
- 下り最大速度21MbpsのPocket WiFi (GP01)を3月12日に発売
- 2012年3月期には下り最大速度42Mbpsの次世代Pocket WiFiを発売予定



- 2012年3月期には5機種以上のスマートフォンとタブレット型パソコンを発表予定
- スマートフォンARPUは音声ARPUの3倍以上



音声ARPUとスマートフォンARPUの比較





1月に開始した通話定額キャンペーンが正式にオプションサービス化

- 携帯電話・PHS・固定電話へ話し放題で月額1,400円～  
(1回あたり10分以内の国内通話を月300回まで)

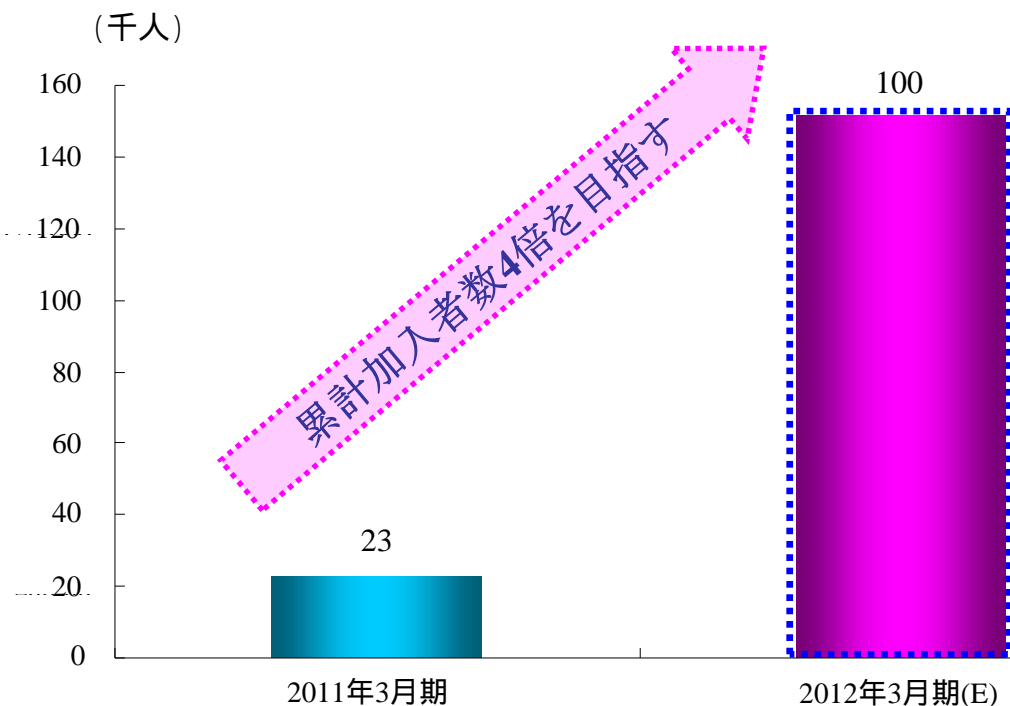
月額料金プラン	通話定額 オプション <sup>*2</sup>	合計/月
<b>スマートプラン</b> 4,580円/月 <sup>*1</sup>	+ 1,400円/月	= 5,980円/月
<b>スマートプランライト</b> 580～4,980 円/月 <sup>*1</sup>	+ 1,400円/月	= 1,980～6,380 円/月

\*1: 2年契約 (シンプルにねん)

\*2: 1回あたり10分以内の国内通話を月300回まで

- 2010年10月のFMCサービス本格提供開始から6ヶ月で累計加入者数は1.5倍
- NTT東西を含む固定回線事業者と共にFMCサービスの拡大を目指す

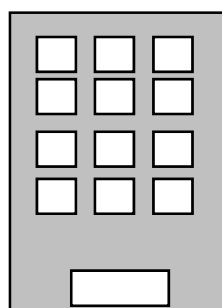
## FMC契約者数



- 地震発生直後の接続成功率は99.5%。通信規制はなし
- 震災後BCP需要が高まる

## 1. テレワーク用にモバイル通信機器とデータ通信端末を配布

- 非常用に初期費用負担が少なく導入しやすいパソコンやiPadとのセット販売
- 仮設オフィス用途で複数台同時につないで使えるPocketWiFi



<企業>

ビジネスの継続

インターネットアクセス



<避難所、仮設オフィス等.>

## 2. 維持費不要のプリペイド払い通信契約

USBタイプ



PCカードタイプ



WiFiルータータイプ



## 3. テザリング機能でインターネット接続可能

WiFiルータータイプ



USBタイプ



- 新キャラクターに板野友美さんを起用し、ブランディング及びマーケティング強化

## EMOBILEの新イメージキャラクター

### AKB48 板野 友美さん

CM放映決定

- ▶ 5/14より放映開始予定
- ▶ ターゲット層の拡大と認知度の向上を目指す



# 主要なオペレーション指標

- MVNO契約の増加に伴いモバイルARPUが減少
- 2年前にネットブックとのバンドルでおこなった販売施策により獲得したお客様の解約が、2012年3月期半ばにピークを迎える予定

		実績		見通し
		2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
モバイル	契約数	2,351,800	3,117,900	約 3,850,000
	ARPU (円)	3,340	3,160	約 2,900
	月次解約率	1.05%	1.38%	約 1.45%
	1人あたり獲得費用 (円)	25,000	25,000	約 22,000
	回収期間 (月)	7.5	7.9	約 7.6
ADSL	契約数	2,285,000	1,928,000	約 1,600,000
	ARPU (円)	2,015	1,961	約 1,900
	月次解約率	1.90%	2.03%	約 2.10%
	1人あたり獲得費用 (円)	9,000	8,000	約 8,000
	回収期間 (月)	4.5	4.1	約 4.2

I. 東日本大震災の影響について

Page 4

II. 2011年3月期決算の総括及び2012年3月期の見通し

Page 6

III. オペレーションの状況

Page 18

**IV. Appendix**

**Page 30**

# 【ご参考】非現金性特別損失等と税効果内訳

		FY3/2011
		実績
(億円)		
	売上高	1,815.4
A:	棚卸資産評価損	- 94.5
	営業利益	149.7
	経常利益	50.9
B:	固定資産除去損	- 22.2
C:	投資有価証券評価損	- 25.4
D:	長期前払費用償却	- 25.5
E:	災害による損失	- 1.2
F:	法人税等調整額	170.2
	当期純利益	145.7

ご説明
A: モバイル事業における今後の端末販売戦略の見直しに伴う棚卸資産の評価損失
B: 棚卸資産の評価損対象端末の一部に関連するシステム設備
C: 実質価額が著しく低下した投資有価証券の減損処理
D: イー・モバイルの借入債務のリファイナンスにかかる長期前払費用の未償却残高を一括償却
E: 東日本大震災関連費用
F: 子会社のイー・モバイルを吸収合併し繰越欠損金を継承したことに伴い、繰延税金資産を計上し、法人税等調整額を戻入れ

# 【ご参考】合併後のバランスシート

(2011年3月31日時点)

(億円)	(ご参考) イー・モバイル	(ご参考) イー・アクセス	(ご参考) 連結	合併後
現金及び預金	284.6	186.2	470.8	470.8
その他の資産	2,627.0	691.9	3,054.6	3,058.7
イー・モバイル社株式	-	(B) 1,096.4	-	-
のれん	-	-	88.6	-
総資産	2,911.6	1,974.5	3,614.0	3,529.5
有利子負債	1,869.1	627.8	2,496.9	2,496.9
その他の負債	423.7	137.1	302.3	302.3
資本金	942.5	184.8	184.8	184.8
資本剰余金	939.5	492.3	1,663.7	492.3
利益剰余金	- 1,263.3	(D) 532.6	-1,034.2	(C+D) 53.3
純資産	(A) 618.8	1,209.6	814.7	730.3
抱合せ株式消滅差損 <sup>*1</sup>	(C=A-B) - 479.3			

\*1: EM純資産とEM株式の差額 (債権債務を消去することによって、貸倒引当金の増減処理など、会計処理方法の統一に伴う差額処理を含む)



# 2011年3月期実績のセグメント情報

2011年3月期 (4/2010 - 3/2011)					
(億円)	モバイル 事業	ネットワーク 事業 *2	デバイス 事業	セグメント 調整額	連結
売上高	1,426.4	448.0	70.2	- 129.2	1,815.4
営業利益	26.3	128.4	1.2	- 6.2	149.7
経常利益	50.9			-	50.9
当期純利益	145.7			-	145.7
EBITDA	403.7	178.9	1.5	- 1.6	582.5
設備投資額	393.0	15.5	0.0	0.0	408.5
減価償却費	282.3	50.4	0.3	5.3	338.3

\*1: 2010年7月1日のイー・モバイルとの株式交換による経営統合が企業結合会計上の「逆取得」に該当するため、2011年3月期実績のモバイル事業はイー・モバイルの12ヶ月分(4/2010-3/2011)、ネットワーク事業及びデバイス事業はイー・アクセスの9ヶ月分(7/2010-3/2011) をセグメント別業績として連結しております。

\*2: ネットワーク事業：ADSL事業、ISP事業、伝送事業、MVNO事業。

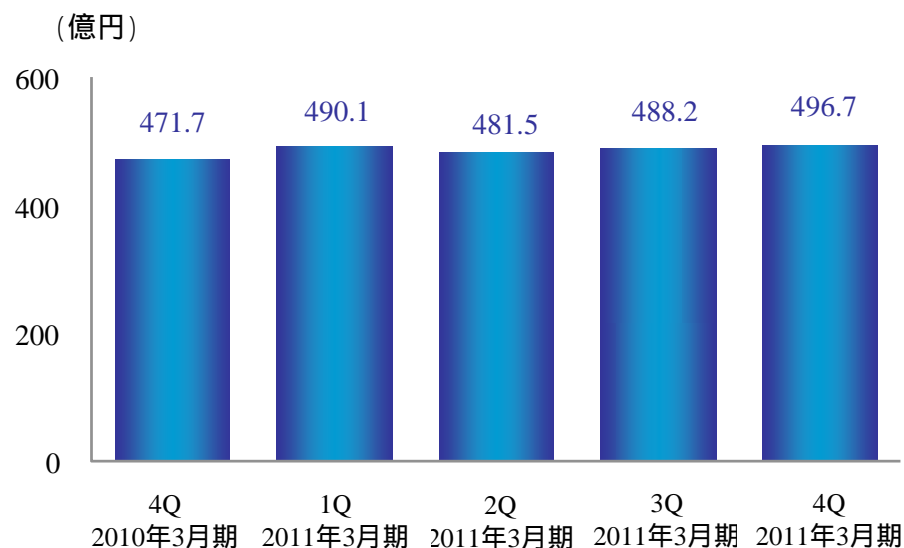
# 2012年3月期セグメント別通期業績予想

	2012年3月期		
	固定事業	無線事業	合計
(億円)			
売上高	420.0	1,580.0	2,000.0
営業利益	120.0	180.0	300.0
経常利益	170.0		
当期純利益	170.0		
EBITDA	157.0	513.0	670.0
EBITDA マージン	37.4%	32.5%	33.5%
設備投資額	19.0	371.0	390.0
減価償却費	37.0	333.0	370.0
営業フリーキャッシュフロー	138.0	142.0	280.0

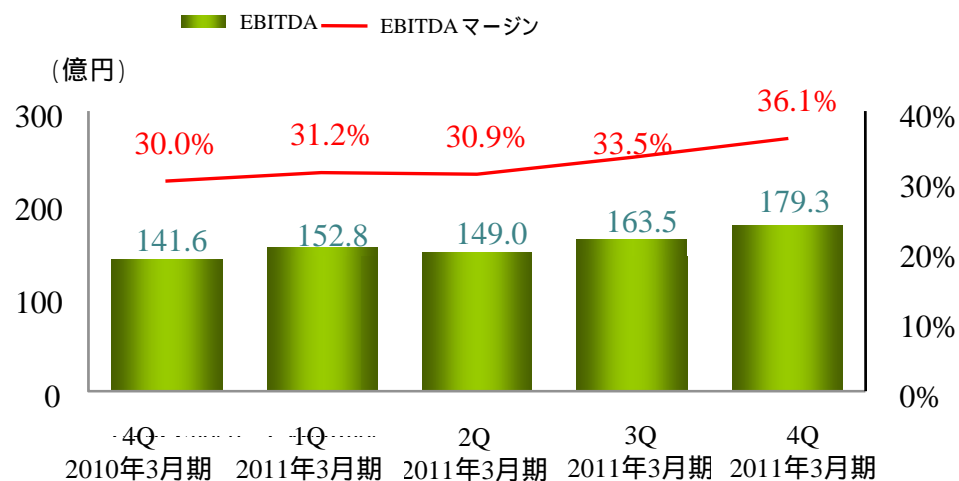
\*1: 2011年3月31日にイー・モバイルを吸収合併したことに伴い、2011年4月1日より開始される事業年度の事業管理体制を最適化するため、従来のモバイル事業、ネットワーク事業、デバイス事業を再編成し、新たに無線事業と固定事業に事業区分を変更しております。

# 【ご参考】試算～連結売上高 & EBITDA推移

売上高(四半期)



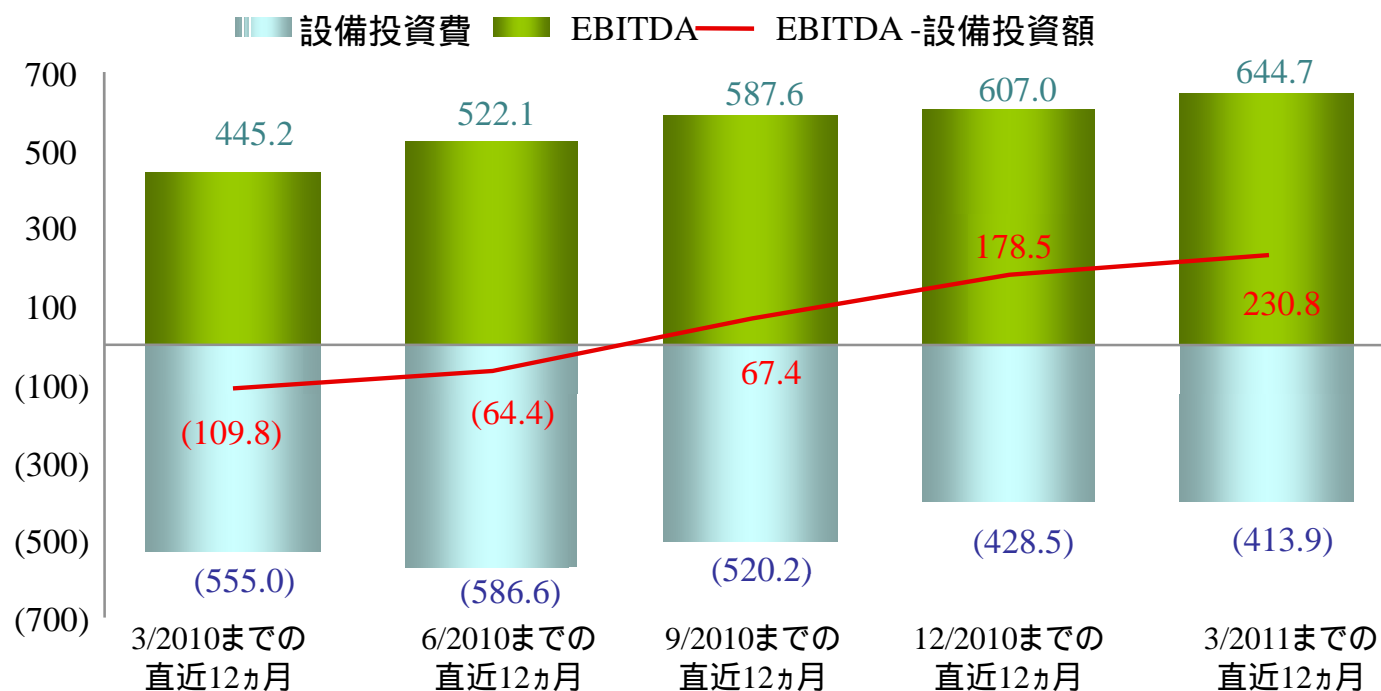
EBITDA & EBITDAマージン(四半期)



\*1: 各期においてイー・アクセスとイー・モバイルが100%連結した場合の試算です。

# 【ご参考】試算～連結フリーキャッシュフロー推移

(億円)



\*1: 各期においてイー・アクセスとイー・モバイルが100%連結した場合で、直近12ヶ月の数字を用いた試算です。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。